伊豆市津波ハザードマップ

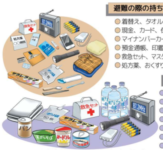
小土肥地区　土肥地区　八木沢地区　小下田地区

この図は、南海トラフ地震により津波が発生した場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、地震の規模や地震による海岸施設の被災状況によっては、この図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので、注意してください。

避難する際の注意点

- ⚠ 地震が発生したらまず浸水区域外や高台へ。
- ⚠ 海・川からなるべく離れるように避難しましょう。
- ⚠ 深夜の地震発生でもあわてず落ち着いて行動しましょう。
- ⚠ 待ち合わせでの避難は絶対避けましょう。

非常持ち出し品と備えておきたい備蓄品



避難の際の持ち出し品

- ○ 着替え、タオルなど
- ○ 現金、カード、保険証
- ○ マイナンバーカード
- ○ 預金通帳、印鑑
- ○ 救急セット、マスクなど
- ○ 処方薬、おくすり手帳
- ○ スマホ、携帯電話
- ○ 携帯バッテリー、懐中電灯
- ○ 携帯ラジオ、乾電池（必要なサイズ）
- ○ ポリ袋、ラップなど
- ○ はし、スプーン、歯磨きセットなど

日頃揃えておきたい備蓄品

- ○ ミネラルウォーター（1 人 /6ℓ/3 日間分）
- ○ 食料品（缶詰各種、カップ麺、缶入りパンなど）
- ○ 非常用保温シート（アルミ製）
- ○ 救急セット（外傷薬、解熱剤など各種）
- ○ 携帯バッテリー、乾電池（各サイズ）
- ○ 携帯ラジオ、懐中電灯
- ○ ポリ袋、ラップなど

※ここに紹介されているものはあくまでも一例です。

日ごろの心がけ

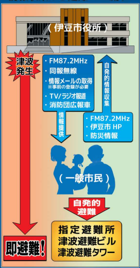
津波避難ビル
高台
HOTEL○○

日頃から避難場所、避難経路の確認をしておきましょう。

避難するときはそれぞれで

避難は徒歩で “てんでんこ”

情報収集から避難への流れ



- ・FM87.2MHz
- ・同報無線
- ・情報メールの取得 ※事前の登録が必要
- ・TV/ラジオ報道
- ・消防団広報車

- ・FM87.2MHz
- ・伊豆市 HP
- ・防災情報

指定避難所
津波避難ビル
津波避難タワー

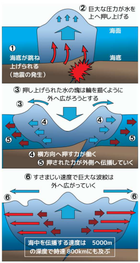
津波に関する警報等の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ 数値での発表（津波の高さ予想の区分）	巨大地震の場合の発表	想定される被害と取るべき行動
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで 3mを超える場合。	10m超（10m<予想高さ） 10m（5m<予想高さ≦10m） 5m（3m<予想高さ≦5m）	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波警報	予想される津波の高さが高いところで 1mを超え、3m以下の場合。	3m（1m<予想高さ≦3m）	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに浸水区域外や高台・津波避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで 0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による被害のおそれがある場合。	1m（0.2m≦予想高さ≦1m）	表記しない	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって海岸から離れてください。

※大津波警報は特別警報に位置付けられています。

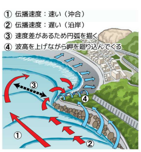
知ってておきたい津波の特性

地震の発生から津波の発生まで


② 巨大な圧力が水を上へ押し上げる
海面
① 海底が跳ね上げられる（地震の発生）
海底
③ 押し上げられた水の塊は輪を描くように外へ広がろうとする
③
④
⑤
④ 横方向へ押す力が働く
⑤ 押された力が外側へ伝播していく
⑥ すさまじい速度で巨大な波紋は外へ広がっていく
⑥

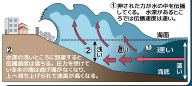
海中を伝播する速度は　5000mの深度で時速 800kmにも及ぶ

岬を廻り込み波高を上げる津波



① 伝播速度：速い（沖合）
② 伝播速度：遅い（沿岸）
③ 速度差があるため円弧を描く
④ 波高を上げながら岬を廻り込んでくる

津波が岸近くで波高を上げる理由



① 押された力が水の中を伝播してくる。 水深があるところでは伝播速度は速い。

② 水深の浅いところに到達すると伝播速度は落ちる。圧力を受けている水の塊は逃げ場がなくなり、上へ持ち上げられて波高が高くなる。

【テラッセ　オレンジ　トイ】

（松原公園津波避難複合施設）

令和6年、全国に先駆け、複合施設型の津波避難タワーが松原公園内に建造されました。5層の鉄筋コンクリート製で、3Fが商業施設、4Fがテラス、5Fがスカイデッキとなっています。

【平常時】

【浸水時】※想定浸水深：5～10m未満

津波による浸水の水深

浸水深
5.0 ～ 10.0m未満
3.0 ～ 5.0m未満
1.0 ～ 3.0m未満
0.5 ～ 1.0m未満
0.3 ～ 0.5m未満
0 ～ 0.3m未満

水深の目安：5.0m　3.0m　1.0m

『浸水深とは』👉 浸水した際の地面から水面までの深さです。

避難場所等一覧表

小土肥・土肥地区

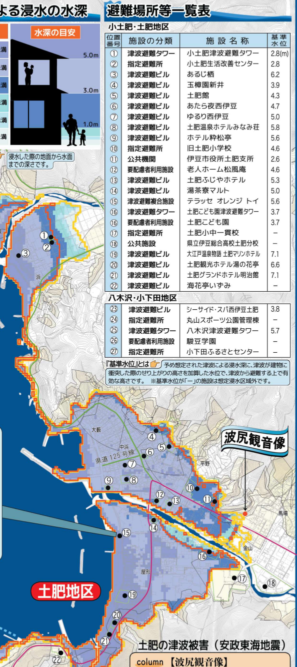
位置番号	施設の分類	施設名称	基準水位
①	津波避難タワー	小土肥津波避難タワー	2.8(m)
②	指定避難所	小土肥生活改善センター	2.8
③	津波避難ビル	あるじ栖	6.2
④	津波避難ビル	玉樟園新井	3.9
⑤	津波避難ビル	土肥館	4.3
⑥	津波避難ビル	あたら夜西伊豆	4.7
⑦	津波避難ビル	ゆるり西伊豆	5.0
⑧	津波避難ビル	土肥温泉ホテルみなみ荘	5.8
⑨	津波避難ビル	ホテル粋松亭	5.6
⑩	指定避難所	旧土肥小学校	4.6
⑪	公共機関	伊豆市役所土肥支所	2.6
⑫	要配慮者利用施設	老人ホーム松風庵	4.6
⑬	津波避難ビル	土肥ふじやホテル	5.3
⑭	津波避難ビル	湯茶寮マルト	5.0
⑮	津波避難複合施設	テラッセ　オレンジ　トイ	5.6
⑯	津波避難タワー	土肥こども園津波避難タワー	3.7
⑯	要配慮者利用施設	土肥こども園	3.7
⑰	指定避難所	土肥小中一貫校	–
⑱	公共施設	県立伊豆総合高校土肥分校	–
⑲	津波避難ビル	大江戸温泉物語 土肥マリンホテル	7.1
⑳	津波避難ビル	土肥観光ホテル湯の花亭	6.6
㉑	津波避難ビル	土肥グランドホテル明治館	7.1
㉒	津波避難ビル	海花亭いずみ	–

八木沢・小下田地区

位置番号	施設の分類	施設名称	基準水位
㉓	津波避難ビル	シーサイド・スパ西伊豆土肥	3.8
㉔	指定避難所	丸山スポーツ公園管理棟	–
㉕	津波避難タワー	八木沢津波避難タワー	5.7
㉖	要配慮者利用施設	駿豆学園	–
㉗	指定避難所	小下田ふるさとセンター	–

『基準水位』とは👉 予め想定された津波による浸水深に、津波が建物に衝突した際のせり上がりの高さを加算した水位で、津波から避難する上で有効な高さです。 ※基準水位が「ー」の施設は想定浸水区域外です。

小土肥地区



土肥地区

県道 223 号線（駿河湾フェリー）

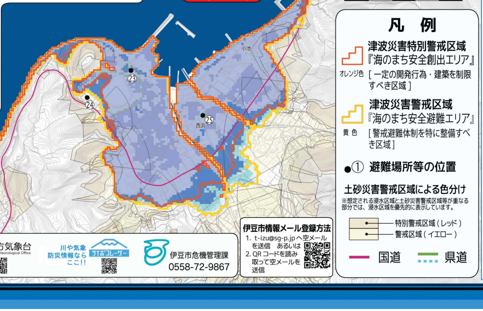
国道 136 号

土肥の津波被害（安政東海地震）

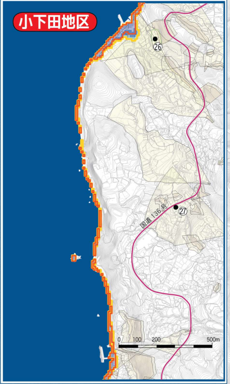
column　【波尻観音像】

1854 年の安政東海地震では、死者 13 人、津波の高さは 4.4 ～ 5mと言われており土肥港から直線で 600m、土肥支所の東側 100m、海抜 7mの場所にある波尻観音まで津波が到達したといわれています。

八木沢地区



小下田地区



凡　例

- 津波災害特別警戒区域『海のまち安全創出エリア』 オレンジ色 ［一定の開発行為・建築を制限すべき区域］
- 津波災害警戒区域『海のまち安全避難エリア』 黄色 ［警戒避難体制を特に整備すべき区域］
- ●① 避難場所等の位置

土砂災害警戒区域による色分け

※想定される浸水区域と土砂災害警戒区域等が重なる部分では、浸水区域を優先的に表示しています。

- 特別警戒区域（レッド）
- 警戒区域（イエロー）
- 国道
- 県道

伊豆市情報メール登録方法

1. t-izu@sg-p.jp へ空メールを送信　あるいは
2. QR コードを読み取って空メールを送信

静岡地方気象台
Shizuoka Local Meteorological Office

川や気象防災情報ならここ!!　サイポスレーダー

伊豆市危機管理課
0558-72-9867

令和 6 年 7 月 更新